



令和3年度 学校だより

はがきた

第4号 令和3年7月20日

教育目標

集中して学び、生命と人権を守り、生きる力の基礎を身に付けた子どもを育成する。
『学ぶ子 守る子 がんばる子』

1学期、お世話になりました！

梅雨がやっと明け、夏の暑い日が続くようになりました。保護者の皆様にはますますご健勝のことと思います。数日続いた雷雨に伴う大雨での被害はありませんでしたでしょうか。このところ各地で被害が出ていますので、十分に気をつけなければなりませんね。

さて、本日20日（火）に終業式を迎え、1学期が実質終了しました。この3か月半にわたる1学期、お子様の様子はいかがでしたでしょうか。それぞれが大きな成長を見せてくれました。4月当初の様子を思い浮かべてみると明らかに違っていると思います。上級生は、芳賀北小のリーダーとしてとてもたくましくなりました。登下校時や清掃時には下級生を気遣う姿が頻繁に見られました。中学年は、生活態度に落ち着きが見られてきました。活動意欲がとても旺盛です。低学年は、生活の中からいろいろなものを積極的に吸収し、学校生活が充実してきました。その中で、なかなか思い通りにいかず思い悩むこともあったのではないのでしょうか。それも成長です。そういった壁を乗り越えながらさらに大きく成長するものです。正しい成長ができるよう、みんなで見守っていきましょう。

明日から夏休みに入ります。夏休みは学校を離れ、家庭や地域での生活が主となります。ただやらせるのではなく、時間はかかりますが、子どもたちが自分で判断し自分で行動できるようにさせていきたいものです。もちろん周囲の援助は必要です。付かず離れず、安全で正しい判断ができるようよろしくお願いいたします。



「いっぱい捕まえたよ！」生き物調査（5年生）

7/12（月）に5年生による生き物調査を行いました。これは、地域の方の力を借りて、学校近くの田んぼや小川に生息する生き物を採集し、種類等の調査するものです。採集を始めると、勢いよく小川に飛び込んでいく者、虫が苦手とあまり乗り気でない者と様々でしたが、ある程度時間がたつと、「ザリガニが捕りたい」「フナが捕りたい」など、積極的に取り組む姿が見られました。今年度は、例年以上の生き物を捕ることができ、児童は大喜びでした。ドジョウ、フナ、モロコ、カエル、ゲンゴロウ、タガメ、ザリガニ、バッタ、ヒル、・・・と様々なものを捕ることができました。改めて芳賀の自然の豊かさを感じました。しかし、これでも、だいぶ減ったという話しをされていた方がおり、環境を守っていく大切さも感じてました。

さらに5年生は、13日（火）にホンダEMチームの協力で、環境教育を行いました。地球規模での環境を考えるという難しい内容でしたが、知ろうという意欲の見える、良い授業となりました。



夏休み中の主な行事予定 7/21(水)~8/31(火)

- 7/21(水) 個人懇談(~30)
- 22(木) 海の日
- 23(金) スポーツの日
東京オリンピック開会
- 29(木) 図書室貸出日①
- 31(土) 県立中学校説明会(宇東附中)
- 8/1(日) 県立中学校説明会(矢東附中)
- 3(火) 図書室貸出日②
- 7(土) 町聖火フェスティバル



- 8(日) 山の日
東京オリンピック閉会
- 13(金)~16(月) 学校閉庁日
- 20(金) 図書貸出日③
- 22(日) 町民会館30周年記念式典
- 24(火) 東京パラリンピック開会
(~9/5)
- 25(水) 4年1組個人懇談(~27)



★児童たちの活躍・学校生活の様子★

【家庭科実習】(5年)



【保護者会】



【交通安全教室】



【研究授業(学び合い学習)】



【生き物調査】(5年)



オリンピック・パラリンピックに思う

7月23日(金)から東京オリンピックが始まります。待ちに待っていたはずのオリンピックなのに、心の底からは喜べない自分がいるような気がします。東京は、緊急事態宣言下。世論が盛り上がらないのも仕方ないのでしょうか。今私が思うことを書いてみます。そういう考え方もあるのか程度に読んでもらえればと思います。

前回の東京オリンピックは1964年10月10日に開幕しました。戦後復興のシンボル、アジア初のオリンピックと、話題性も豊かでした。また、大勢の日本国民が熱狂的な応援をし、16個の金メダル、合計29個のメダル獲得と日本中を歓喜の渦に巻き込んだと聞いています。今回のオリンピックはどうでしょうか。緊急事態宣言が何度も出され、無観客どころか、中止の議論もされました。なんとなくやらない方がいいのではという風潮さえあります。



一体誰のためのオリンピックなのでしょう。まずは当然、選手のみなさんのため。4年(今回は5年ですが)に一度のオリンピック。競技によってはたった一度のチャンスになるかもしれないスポーツの祭典です。この大会のために私たちには想像できない努力をし、調子を合わせてきたのに違いありません。次に考えられるのは、やはり日本国民のため。日本人は、スポーツを見る機会に恵まれていると思います。しかし、これだけのスポーツ選手が一堂に会し、本物を見せてくれる機会はほとんどありません。本物を見なければわからないことが多く、競技から得られる感動の大きさは計り知れません。会場で見られないことは残念ですが、テレビなどを通じて、今まで見ることはできなかつたところまで見られるのではと期待しています。コロナ渦で閉塞感がある世の中に、幾筋もの光となる感動がもらえるのではないのでしょうか。経済効果という話もよく聞きますが、それよりも感動が何よりもありがたいと思います。そのほかにもいろいろ考えられると思います。そう簡単には中止にできないですね。



確かにコロナは怖いですが、まだまだ収束はほど遠く、人流が増えればおそらく感染者は増えるでしょう。でも、対策を信じ、自分たちの行動を律するほかないのだと思います。そしてそれはオリンピックだからの話ではないのだと思うのです。

コロナ渦で間違いなく増えるおうち時間。オリンピックを軸に、感動のある時間を過ごすのはどうでしょうか。安心安全は、まず自ら作っていくよりないのですから。

※芳賀北小ホームページでは、カラーで学校だよりを掲載しています。ぜひ御覧ください。